

全鉄連流通動態調査結果表平成26年5月分

(26.6.25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		4月実績	前月比%	5月実績	前月比%	5月実績	前月比%	5月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	8,462	89.3	58,011	108.5	57,170	104.9	9,303	109.9	
	大 阪	6,599	93.3	27,281	113.9	27,499	112.6	6,381	96.7	
	愛 知	7,781	97.2	2,540	112.2	2,605	104.6	7,716	99.2	
	計	22,842	93.0	87,832	110.2	87,274	107.2	23,400	102.4	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	21,276	98.2	9,812	100.5	9,418	92.8	21,670	101.9
		大 阪	19,938	99.5	10,129	93.9	10,013	92.0	20,054	100.6
		愛 知	12,233	94.8	5,712	114.1	5,479	96.5	12,466	101.9
		計	53,447	97.9	25,653	100.4	24,910	93.3	54,190	101.4
	溝 形 鋼	東 京	18,957	101.4	5,732	75.4	5,908	80.4	18,781	99.1
		大 阪	13,467	102.5	6,626	97.7	6,075	94.1	14,018	104.1
		愛 知	8,019	98.3	4,280	99.2	4,180	93.8	8,119	101.2
		計	40,443	101.1	16,638	89.0	16,163	88.5	40,918	101.2
	H 形 鋼	東 京	30,858	99.3	14,264	112.7	12,363	96.0	32,759	106.2
		大 阪	44,469	93.1	26,108	117.5	25,170	98.7	45,407	102.1
		愛 知	25,096	94.4	10,148	112.0	10,840	102.9	24,404	97.2
		計	100,423	95.3	50,520	115.0	48,373	98.9	102,570	102.1
合 計		194,313	97.2	92,811	105.3	89,446	95.3	197,678	101.7	
コ ラ ム	東 京	8,647	95.7	2,042	104.3	2,415	103.0	8,274	95.7	
	大 阪	9,032	97.2	2,917	94.6	3,511	105.1	8,438	93.4	
	愛 知	2,445	96.0	2,469	102.4	2,383	94.8	2,531	103.5	
	計	20,124	96.4	7,428	99.7	8,309	101.3	19,243	95.6	
軽 量 C 形 鋼	東 京	3,680	95.4	2,436	100.3	2,408	92.4	3,708	100.8	
	大 阪	3,810	98.5	1,791	94.5	2,045	104.7	3,556	93.3	
	愛 知	2,668	102.2	906	73.6	949	80.8	2,625	98.4	
	計	10,158	98.3	5,133	92.4	5,402	94.2	9,889	97.4	
総 計		247,437	96.7	193,204	106.8	190,431	100.7	250,210	101.1	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 33、大阪 21、愛知 15、合計 69社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。